



▲大人気の健康チェックコーナー。

### 地域に根ざした病院を目指して

開かれた病院づくりを進めるために、市立加西病院で6月25日、「第8回ホスピタル・フェア」が開催され、市民ら約200名が訪れました。

フェアでは、山邊裕病院長が「終末期医療と地域」をテーマに講演し、同病院の在宅みとり支援体制への取り組みを説明。また、研修医による相談コーナーや看護師等の制服での記念撮影、医師らによる演奏会など多彩な催しが開かれ、参加者は楽しみながら医療の現場と交流を深めました。

### ジャガイモ掘りで園児ら交流

網引町の畑で7月5日、田原保育園児15名と九会保育園児29名と一緒にジャガイモの収穫を楽しみました。

食に関心を持ってもらおうと網引町営農組合（石井和博組合長）が招待。子ども達は、地元農家の皆さんと共にスコップで土を掘り返し、仲良くジャガイモ掘りを楽しみました。たくさんのジャガイモを収穫した後は、スイカの差し入れもあり、みんなで渴いたのどを潤しました。



▲収穫したジャガイモは同園でカレーライス材料として使われます。



▲田植えをする子ども達。

### 古式ゆかしく「御田植神事」

池上町の水田で6月26日、五穀豊穡や子孫繁栄などを祈念する「御田植神事」が行われました。

日吉神社とその氏子によるこの行事は、赤米や紫米などの早苗を田植えして奉納するもので、県下でも稀な伝承行事の一つ。神田前に作られた拝殿で神事が行われたあと、お払いを受け早乙女姿に扮した子どもらが水田に入り、泥に足を取られながらも一株丁寧に苗を植えました。



▲楽しい歌で、会場に一体感が生まれました。

### 第10回北播磨地区子育てフェスティバル

年に一度、北播磨地区の子育て学習センターなどが一堂に会する子育てフェスティバルが6月30日、健康福祉会館で開催され、市内外から参加した約180名の親子が交流しました。

「つながりあそび・うた研究所」主任の町田浩志さんによるお話と楽しい音楽で、参加したお母さん達は、明日からの子育ての活力へとつながる貴重な時間を過ごしました。



▲「戒名」は、生前の人柄が分かるように作られるそう。

### 僧侶に教わるお盆の風習

下若井町公会堂で7月3日、お盆の風習を学ぶイベントが開催され43名が参加しました。

普段接することが少ない僧侶と交流を深めてもらおうと、住民グループ「はっちゃん西在田」が企画。西在田地区のお坊さん2人が、お盆の意味や戒名について解説しました。参加者は、胡瓜の馬や茄子の牛作りに挑戦、茶粥も振る舞われ、和やかな雰囲気での勉強会となりました。

### 色鮮やかな五百羅漢の絵はがき完成

NPO法人まちづくり北条（松本正光代表）は、北条小学校の児童が作った五百羅漢石仏の版画を使い、絵はがきを作りました。

絵はがきは、北条小学校6年生が、昨年の図工の時間に版画で作成したもの20種類。様々な表情の石仏が鮮やかな色彩で生き生きと表現された力作ばかりです。デザインの異なる5枚1セット400円で、五百羅漢寺（北条町北条）で販売中。



▲今年の絵はがき全20種類。版画は一版多色刷り。



▲同会は定期的に開催。アットホームな雰囲気です。

### 国際カップルが異文化交流を話し合う

国際結婚の夫婦が集い、毎回様々なテーマで話し合う「国際結婚夫婦の会」が7月3日、健康福祉会館で開催され、4組の夫婦が参加しました。

NPO法人MORE地球家族（村上尚美代表）が主催する同会の今回のテーマは「災害と備え」。南米、ヨーロッパ、東南アジアなどの出身者らが、それぞれの国の災害発生時の様子や加西市での災害の備えについて情報交換を行いました。異文化を背景にもつ夫婦ならではの意見や面白い気づきが自由に話し合われました。

### ミュージカル曲で構成。吹奏楽団定期演奏会

市民会館文化ホールで6月26日、加西市吹奏楽団の第19回定期演奏会が開催されました。「美女と野獣」など、アンコールを含む11曲の迫力ある演奏に、会場を訪れた400名はうっとりとして聴き入っていました。

同楽団は市内唯一の吹奏楽団として発足から22年、各施設への慰問演奏など積極的に活動されています。



▲「ミュージカル」をテーマにリズムカルな曲を演奏。



▲ブラジルでの活動を報告する松本さん。

### 青年海外協力隊の松本さん来庁

平成21年7月から2年間、青年海外協力隊員として活躍した松本茜さん（鷯野町）が7月12日、市長を表敬訪問されました。日系社会の方々の日本語指導のため、ブラジル・ピエダーデ市の日本語学校に派遣されていました。

松本さんは、ブラジルでの取り組みなどを報告された上で「現地の日系社会は、古き良き日本の文化が残っています。そこでの体験を日本の若者達にも伝えていきたい」と語られました。

### ダンスを通じて、ユニバーサル社会づくり

市立加西特別支援学校（西笠原町）で7月15日、東京で活躍するプロダンサー KIN さん（中富町出身）が小・中学部と高等部の生徒ら52名にストリートダンスのレッスンを行いました。

市内のダンスグループ DO-it がダンスを通じ、障害の有無を越えた社会づくりに貢献しようと企画。レッスンでは、リズムを取りながらステップを踏んだりしました。KIN さんが「音楽によって楽しく踊れば、それがダンス」と語りかけると、「一緒に踊って楽しかった」と生徒達は目を輝かせました。



▲最初に KIN さん（中央）らの迫力あるダンスを披露。